
同窓会だより

新型コロナウイルス影響下における新しい同窓会活動

会長（歯学科14期生） 有 松 美紀子

新型コロナウイルスの影響により私たちは今まで経験したことがないような時代を送っています。仕事や生活の場でも今まで以上に感染症対策を実施し、健康面だけでなく経済的な問題にも直面しています。しかし、このような状況下にあっても経済的支援が必要となった歯学部学生の報告がないということは幸いです。（令和2年7月末現在）

同窓会の事業も大きな影響を受け、4月に予定していました総会と学術セミナーは中止、その後の学術セミナー、研修歯科医師支援塾等も中止しました。この新しい生活様式が常になり、今後の見通しもつかない中、同窓会事業を見直し、新しい同窓会活動を開始しました。

会議やセミナー等はコロナ禍が沈静化するまでは、多数で参集するという従来の形式ではなく、三役会、理事会、評議会、支部長会議、各種委員会等はZoomやメール会議を利用し行なうようになりました。

さて、現在では、本学同窓生は国内のみならず海外でも活躍する方々が増えています。今後はITを利用して瞬時に世界中の同窓生同士が繋がっていく、そのようなビジョンを持っています。

1月に始まりましたこのコロナ禍の影響により令和元年度新潟大学の卒業式も中止になりましたが、歯学科と口腔生命福祉学科の卒業生には、記念品をお渡しし、学部の3階通路には卒業生ネームプレートを掲示させて頂き、お祝いの気持ちに代えさせて頂きました。両学科合わせて3,000名弱の会員の名前が明記されています。同窓会員の皆さま、保護者の皆さまには、学部にお越しの節

には是非ご覧頂ければと思います（写真1）。

日本中、世界中のどこで活躍していても（写真2）、私たちの帰属する場所は新潟大学歯学部であり、新潟大学歯学部同窓会です。新型コロナの影響により大変大事な事を再確認させて頂くことができました。今後も、目には見えませんが強い絆で固く結ばれた同窓会を目指して参りたいと思います。



写真1：卒業生ネームプレート。歯学部を卒業した全員の名前が載っています。



写真2：令和2年4月に日本歯科大学新潟生命歯学部教授に就任された黒木淳子先生（歯学科27期生）。当会から教授就任のお祝いを差し上げました。当会会員の延べ61人目の教授です。
